

大学史研究会

第41回研究セミナー

プログラム

日時：2018年11月17日（土）、18日（日）

会場：國學院大學 渋谷キャンパス 渋谷130周年記念5号館3階5301教室
（〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28）

参加費：会員・非会員（有職者） 2,000円
大学院生（非有職者） 1,000円

懇親会費：会員・非会員（有職者） 4,000円
大学院生（非有職者） 3,000円

後援：國學院大學研究開発推進機構校史・学術資産研究センター

《出欠事前連絡のお願い》

セミナー準備の都合により、事前に出欠を確認しています。研究会のサイト（<http://daigakushi.jp>）に【参加申込フォーム】がありますので、11月9日（金）までにご返信くださいますようお願い申し上げます。同封のFAX送信票でお送りくださっても結構です。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

プログラム

一日目 11月17日(土)

シンポジウム

「大学史・高等教育史研究のこれまでとこれから」

我が国で大学史研究が本格的に取り組まれるようになって50年余りの歳月がたった。かつては「飯が食えぬ学問」とされてきた大学(史)研究及び高等教育(史)研究であるが、各種学会を立ち上げるまでに成長し、いまや学術研究上、「高等教育」は一つの領域を形成するまでに拡大した。その発展に大学史研究会が果たしてきた功績は小さくないと思われる。

では、我が国の大学史・高等教育史研究は、これまで何を明らかにしてきたのか。また研究テーマ・研究方法は、どのような変遷を辿ってきたのか。初回のセミナーから半世紀が過ぎ、大学史研究や学校沿革史の研究成果は量的拡大を遂げたわけだが、その一方で、近年の大学史・高等教育史研究においては、大学及び高等教育を包括的に捉える歴史的視座(フレームワーク・パラダイム等)が欠如しているとの批判も少なくない。近代における国民国家の誕生とそれに伴う中世大学の近代大学への変容過程に関する議論は、ヨーロッパ大学史研究が示すフレームワークの一つだが、日本においてその議論は乏しく、当然ながらこうしたフレームワークから導かれる課題も、共有どころか認識されずにいる。

また日本の大学史・高等教育史研究は、ある時期まで、諸外国のそうした知見に加えて、教育社会学はもちろん、科学史をはじめとする関連領域とのダイナミックな交流により発展してきた。しかしながら、一部の研究者に依存してきたこともあり、現在ではこれらの点について、必ずしも明るい見通しを立てられる状況にない。研究成果は増えていくものの、大学史・高等教育史研究が本来有すはずの魅力が欠け、結果として学術的にも社会的にも、かつてほど読者を魅了することが少なくなってしまったようにも思われる。

そこで今回のセミナーでは、大学史・高等教育史研究をめぐるこのような現状を踏まえ、「大学史・高等教育史研究のこれまでとこれから」と銘打って、以上の点を広く展望する契機を提供するシンポジウムにしたいと考える。

会場：渋谷130周年記念5号館3階5301教室
司会：深野政之(大阪府立大学)

- | | |
|-------------|---|
| 13:00 | 受付開始 |
| 13:30-13:50 | 趣旨説明および大学史・高等教育史研究の量的動向 戸村理(國學院大學) |
| 13:50-14:30 | 日本における大学史・高等教育史のレビュー 羽田貴史(広島大学・東北大学名誉教授) |
| 14:30-15:10 | 比較大学史からの検討と提言 安原義仁(広島大学名誉教授) |
| 15:10-15:50 | 科学史研究からの検討 岡本拓司(東京大学) |
| 15:50-16:05 | 休憩 |

- 16:05-17:00 全体討論
17:10-17:40 大学史研究会総会
18:00-20:00 懇親会 カフェラウンジ若木が丘 (学内)

二日目 11月18日(日)

自由研究発表

会場：渋谷 130 周年記念 5 号館 3 階 5301 教室

司会：船勢肇 (大阪芸術大学) ほか

- 9:00 受付開始
9:30-10:15 中世パリ大学の形成と学芸学部 (Facultas Artium) をめぐって
松浦正博 (広島女学院大学名誉教授)
10:20-11:05 コミュニケーション革命の大学へのインパクト—19 世紀初頭と現代
潮木守一 (名古屋大学名誉教授)
11:10-11:55 戦後沖縄初の私立高等教育機関の設置
金城正英 (名桜大学)
12:00-12:45 リンカンの目線からみた共和国大学—ランドグラント・カレッジ再考
立川明 (国際基督教大学名誉教授)

*以上で第 41 回研究セミナー自由研究発表は終了

特別講演会

- 13:30-14:45 アメリカ高等教育の大拡大期に関する歴史的検討：1950～1975 年
The Great Expansion of American Higher Education, 1950-1975:
Who, When, Where, and Why
ロジャー・ガイガー (ペンシルベニア州立大学名誉卓越教授)

昼食について

会場校周辺は、渋谷の一般的なイメージとは異なり、昼食をとれる場所が意外なほど少ないです (会場から徒歩 3 分でコンビニエンスストアが 1 店あるのみです)。二日目の特別講演会への参加を予定されている方は、**昼食を適宜持参されることをお勧めいたします。**

宿泊について

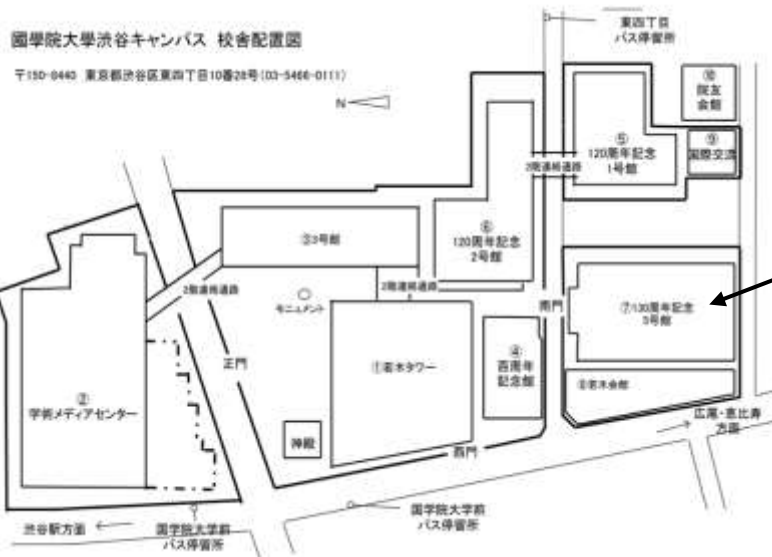
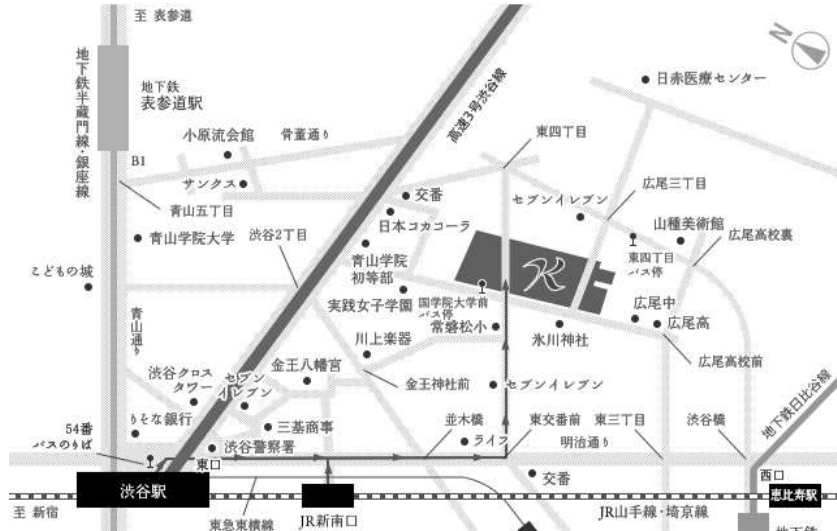
研究セミナーの開催に際し、会場校では、特段、宿泊先を確保しておりません。お手数をおかけしてしまいますが、会員の皆様におかれましては、各自で近隣の宿泊施設を確保してくださいようお願い申し上げます。

國學院大學博物館について

セミナー期間中、「明治日本における伝統と近代」と題して、井上毅の旧蔵資料である「梧陰文庫」を中心に、國學院大學図書館所蔵の貴重な資料が展示されています。入館料は無料ですので、この機会にぜひお立ち寄りください。

会場へのアクセス

- ・渋谷駅（JR 山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線）から徒歩約 13 分
- ・渋谷駅（JR 埼京線）新南口から徒歩約 10 分
- ・都営バス（渋谷駅東口バスターミナル 54 番のりば 学 03 日赤医療センター行）「国学院大学前」（渋谷駅から 3 番目の停留所）下車（運賃 180 円・IC175 円）所要時間約 10 分



お問い合わせ

事務局セミナー担当：船勢肇 E-Mail: jshshe@daigakushi.jp Fax: 072-444-4484
住所：〒596-0004 大阪府岸和田市荒木町 1-1-21 船勢肇

大学史研究会事務局

| | |
|------------------|----------------|
| 浅沼 薫奈 (大東文化大学) | 岡田 大士 (中央大学) |
| 長谷部 圭彦 (早稲田大学) | 深野 政之 (大阪府立大学) |
| 船勢 肇 (大阪芸術大学) | 山崎 慎一 (桜美林大学) |
| 山本 尚史 (長崎女子短期大学) | |